

# 会 議 録

会議の名称	令和6年度第3回小金井市食育推進会議
事務局	福祉保健部健康課健康係
開催日時	令和6年11月20日(水)午後2時
開催場所	保健センター 1階 大会議室
出席者	別紙のとおり
傍聴の可否	<input checked="" type="radio"/> 可 ・ <input type="radio"/> 一部不可 ・ <input type="radio"/> 不可
傍聴者数	0人
傍聴不可等の理由等	
会議次第	公開済み
会議結果	別紙のとおり
発言内容・ 発言者名(主な 発言要旨)	別紙のとおり
提出資料	別紙のとおり
その他	

令和6年度第3回小金井市食育推進会議 会議録

日 時 令和6年11月20日(水) 午後2時～午後3時15分

場 所 前原暫定庁舎 A会議室

出席委員 13人

会 長 山 岸 博 美 委員

副会長 松 嶋 あおい 委員

委 員 牧 野 ま や 委員 雀 部 かおり 委員 太 田 篤 胤 委員

委 員 三 毛 明 人 委員 横 山 英 吏 子 委員 北 脇 理 恵 委員

委 員 井 上 正 子 委員 服 部 聡 委員 高 橋 健 太 郎 委員

委 員 藤 澤 弘 委員 大 澤 秀 典 委員

欠席委員 3人

委 員 長 谷 川 郁 子 委員 山 田 五 月 委員

委 員 大 石 和 孝 委員

---

事務局職員

健康課長 伊 藤 崇

健康係長 渡 邊 知 子

健康課主任 近 藤 仁 美

---

傍 聴 者 0人

(午後2時 開会)

○事務局 すみません、保健センターではなく、こちらにいらしていただきまして、どうもありがとうございます。ちょっと保健センターが工事中ということで、どうしても騒音とか出るものなので、今回は申し訳ありませんけど、こちらのほうに会場を変更させていただきました。

本日の委員の方の出席でございますが、多摩府中保健所の山田委員、それから学校栄養士の長谷川委

員から欠席の連絡をいただいております。現時点では、会長さんを除きまして11名の委員の方の出席となっております。過半数以上の出席となっておりますので、審議会として成立することを御報告いたします。

次に、配付資料の確認をさせていただきます。本日、机上に配付させていただいたものとしましては、クリップで留めてある次第、名簿、前回の会議録案、令和5年度進捗状況調査の結果、それから閲覧用の第4次食育推進計画になります。お手元に資料のない方はいらっしゃいますでしょうか。大丈夫でしょうか。もし会議中でも足りないというものがございましたら、事務局のほうにお申しつけください。

また、第4次食育推進計画につきましては、終了後、机上に置いたまま御退席ください。

○山岸会長 ありがとうございます。

それでは、令和6年度第3回小金井市食育推進会議を開催させていただきます。

議事に入る前に、事前に皆様のところに送付されている前回の議事録案で御自身の発言内容を確認していただいたと思いますが、訂正を希望された方は訂正どおりになっているかを確認していただきたいと思います。ちょっと一読いただければと思います。もし訂正を希望される委員の方いらっしゃいましたらお願いいたします。

○松嶋副会長 すいません、大変細かくて恐縮です。12ページなのですが、松嶋の嶋の字が、山へんに鳥ではなく普通の島になっているので。ちゃんとなっているところもあるんですけど、数か所あります、すいません。

○事務局 大変申し訳ありません。

○松嶋副会長 細かくてすいません。

○事務局 ホームページ等にアップする前に訂正するようにいたします。

○山岸会長 じゃ全てに山へんをつけていただくということでよろしく申し上げます。

○松嶋副会長 よろしく申し上げます。

○山岸会長 あとほかの委員の方、もし、この会議録案でよろしい方は挙手のほうをお願いしたいと思います。

ありがとうございます。もし追加でまた気がついたことがございましたら、終了までに事務局のほうにお願いいたします。

それでは、意見提案シートについて事務局からお願いいたします。

○事務局 意見提案シートの御提出はありませんでした。

○山岸会長 ありがとうございます。

それでは、議事に入ります。

令和5年度小金井市食育進捗調査結果の先月の続きを事務局のほうからお願いいたします。

○事務局 それでは、A3の資料、進捗状況調査の結果をお出してください。前回は7ページ、生涯にわたる食育推進、乳幼児と保護者の食育推進、保健センターのところが終わりましたので、本日は、8ページ、生涯にわたる食育推進、乳幼児と保護者の食育推進、保育所・幼稚園等のところから始めたいと思います。

8ページにつきましては、1から10まで、全て小金井市の公立保育園になります。いろいろな食育計画だったり収穫体験だったり、それぞれの保育園で、多分1ページ目の食育というところに書かれているんですけども、いろんな事業を保育園も行ってあります。ふだん栄養士による出前講座というのがあるんですけども、一応伺ったところ、それぞれの保育園の近くにある児童館に呼ばれていって、そこに来た保護者の方に離乳食の相談などを行っていると聞いております。児童館では毎年年間が決まった日に来てくださいと保育園の栄養士に依頼しているそうです。

あとは、私立の保育園・幼稚園等との連携を推進するというところに、前に私立の保育園さんと献立の情報交換などを行ったということも聞いてはいるんですけども、あとは、保健センターの私と公立保育園の栄養士会のほうとで連携を取るような形になっています。年一、二回なんですけれども、いろんな情報交換をしたり、こんな相談が多いよとか、そういうお話などをしています。そのほかにもお勧めレシピなどもいただいたりするんで、また今年度もいただいたレシピを印刷して、配布しています。

また、毎月の献立表も送ってもらっているんですね。また、昨年同様、2階の栄養室の廊下に掲示をしています。離乳食教室などでも、これから保育園にお子さんを入園させたい方に参考として紹介もしています。それから、レシピも1階の窓口や2階の栄養室前にも置いて、保護者の方にお持ちになっていただいています。また、栄養相談に来られた方で、簡単にできる料理を知りたいという方にも差し上げるようにしています。

保育園は一応ここに書いてあるとおりです。

○山岸会長 ありがとうございます。

今、8ページの報告をいただきましたけれども、何か御意見等ある方いらっしゃいますでしょうか。大丈夫でしょうか。

そうしたら、8ページは8番目のところが、コロナ明けということで、CからBになっているということでもよろしいですね。

委員の方、何かございますでしょうか。大丈夫でしょうか。

それでは、引き続き9ページをお願いいたします。

○事務局 9ページは児童館、小学校の食育についてです。

9ページの児童青少年課の子育て相談会、乳幼児食事会については書いてあるとおりなんですけれども、昨年も雀部委員からお話を伺ったりしたんですけれども、何か補足とかがあればお願いします。

○雀部委員 雀部です。

小金井には児童館が4館あるんですけど、そのうちの3館、東児童館、貫井南児童館、緑児童館の食育事業の担当講師をしております。離乳食講習会については、年に2回のところと年3回のところがあるんですけれども、メニューでいうと、けんちん汁、なすとひき肉のカレー、あとポトフの離乳食の初期から完了期までの取り分け食と、大人も一緒に楽しめるというメニューを実際に皆さんと作って試食して講座を受けてというような形で離乳食講習会はやっております。それと、乳幼児の食事会については、子育てひろばのお便りの裏のページに、簡単に作れるお子様向けメニューのレシピの監修を全てやっておりますので、そちらのほうを実際に試食していただく機会ということで、毎月、東児童館のほうでは私がレシピを基に食事を作って皆さんに食べていただいて、実際におうちで作っていただくという流れまで持っていけたらなというふうに思っております、毎月、会食をやっております。幼児まではそのぐらいで大丈夫でしょうか。

○事務局 ありがとうございます。

ほかにまだいらっしゃいますか。

○山岸会長 ほかに御意見、質問、ありますでしょうか。

北脇委員、よろしく願いいたします。

○北脇委員 北脇です。

一番下の栄養講習会のところなんです、実施人数が親子6組で、今回申込みはあったがキャンセルがあったので3組になってしまったということは分かるんですが、そもそもの対象の人数が少ないなと思っていて。多分、予算もついてやっていると思うので、これは必要なのかなという疑問を感じました。もうちょっと人数を多くしてやり方を変える、その栄養講習会というもの自体はいいとは思んですけども、この6組、でも今回は親子3組しか参加しなくて、そのために時間もお金も人も割いてどうなんだろうと思うので。どうしてもキャンセルが出るのは仕方ないものですし、あとは多く取ったとしても今度は食材が足りなくなってしまうので、なかなかこれに対する予防線が張れないところではあるので、今後もこの形で継続するかどうかは考えてもいいのではないかなと個人的には思いました。

あともう一つ、形として、この調理にこだわるのであれば、パパと子供のとか、これは男女差別ではなく、やはりあまり調理を担当したことがない人と子供との組合せに限定すると、何だろう、広く浅く親子のクッキングより、パパと一緒に作ろうとかのほう以案外突き刺さったりしますので、そういった意味で、精査という意味ではなく対象を絞るという意味でちょっと形を変えて工夫していくことが必要

なのではないのかなと思いました。

以上です。

○事務局 このことにつきましてはなんですけれども、令和5年についてはコロナの後だったので一応6組という形でやっているんですけれども。今年度、来年の調査になりますが、9組でやって、キャンセルがあってもキャンセル待ちも入っていたので、一応全員に来ていただいた次第です。

もう一つの「パパと」というのは、栄養講習会ではなくて、うちのほうで親子健康教室というのをやっているんですけれども、その目的は別に調理ではなくて、いわゆる働き盛りの男性の方に、ぜひ生活習慣病を予防するために、お医者さんのお話だったりとか栄養の話、それから体操教室など、ちょっと盛りだくさんという形でやっている講座があるんですね。そちらのほうでお料理を親子で作って、それは1日のちょっと長いプログラムなんですけども、最後にお父さんと子供で御飯を作って食べるというような講習会があったんですけれども、ちょっとコロナの間と去年は調理中止にしていたんですね。一応今年度やる予定になっています。それはコロナ前からやってきた企画です。

○山岸会長 そのほかございますか。

そうしましたら、今、近藤さんのほうから言われた父親とのクッキングは、今年度は実施するけど、昨年度は実施していないのでちょっとこちらのほうには記載されていないという理解でよろしいですか。

○事務局 はい、そうですね、調理抜きという感じだったので。

○山岸会長 承知いたしました。

小学校かどこかの家庭科室でやるので、どうしても参加人数が限られてしまうという理解でよろしいですか、この栄養講習会は。

○事務局 栄養講習会の場合は学校ではなくて保健センターで行っているんですね。平成29年から行っているんですけれども、コロナの間は中止をしてました。それで、コロナが終わってすぐのときはちょっと試食ができなかったりしたんですけれども、今は作るどころから試食まで。前に長谷川さんが昨年のお話をされたかと思うんですけれども、令和5年については小学校3・4年がテーマで、さきどり北欧風クリスマスという形で、クリームスパゲティと小金井産野菜のサラダとヨーグルトルトゥという小金井産のルバーブで作ったジャムを使ったパイを作りました。

最初に学校栄養士のほうから、今日の献立はフィンランド風のメニューで、フィンランドの話やサンタクロースの話、できるだけその講習会では小金井産の野菜を使おうということで、農協にあるものを用意して、小金井産の野菜の話なども、それは毎年なんですけど、一緒にするようにしています。小金井産の野菜のいいところは、近くで採れるからとても新鮮で作り手が分かるとか、旬のものが食べられる。それから、献立の作り方の説明を聞いた後、調理、試食をするという流れになっていました。

アンケートでも子供たちに、小金井産の野菜のいいところが分かりましたかとか、小金井産の野菜を食べたいと思いますかという問いに対して、このときは3人しかいなかったんですけども、3人とも、分かったしまた食べたい、また、今日、参加してよかったというお答えをいただきました。それから保護者の方からも同じような意見をいただきました。

ちょっとキャンセルがあったのが残念なんですけど、やっぱり実施時期というのもちょっと難しいんですけども、7月最後ぐらいという形で毎年行っているような形です。申込みが結構早いので、逆に早く入れて都合がつかなくなったという方もいらっしゃるんですけども、しばらくはそのぐらいで。8月に入ってしまうとすごく暑いし、また難しいかなというところもあるので、来年もそのぐらいでやりたいと思っています。今年度もその辺で行っています。

○山岸会長 ありがとうございます。なるべく多くの参加者が継続して来ていただいて活発化していただくことを願います。

そうしたら引き続き、次のページをよろしくお願いいいたします。

○事務局 9ページの最後です。手前の4つは小学校なんですけども、本日は長谷川委員が来ておりませんので、また次にしたいと思います。

次の10ページは学童保育・児童館、下が中学校のほうになります。ここは書いてあるとおりになりますが、何か児童館とか携わっている方がいらっしゃいましたら。

○雀部委員 緑児童館のところにある夏のピザづくり!!!~エコクッキング~1回、8名の参加というところの講師を務めました。これもコロナ明けの久しぶりの調理だったんですけども。エコクッキング自体はずっと長くやっていたんですが、1回コロナでやっぱり途切れてしまったということがあったんですけども。小学生に対してエコクッキングをやることで、地元の野菜を使ってということと、もう一つは環境に優しい調理を目指してやっていただこうということで、見えないエネルギーを大切にしよう、水とかガスや電気を無駄にしない方法というのを講座の中でお話しした後にピザ作りをしました。

調理自体も楽しいと思って帰ってもらえるのはもちろんなんですけども、日常で自分たちが気をつけてエコにつながることで、地球に優しい活動ができるということはいろいろあるんだと知っていただくいきっかけになったかなと。改めてこういうことを話すことはなかなかないんですけど、食育を通じてそういうことにも波及するという面では参考になるときもあるかなと思います。

以上です。

○山岸会長 10ページのほうで委員のほうから何か御質問等ございますでしょうか。

○松嶋副会長 松嶋です。



○山岸会長 よろしくお願ひします。

○松嶋副会長 すいません。高橋さんがもしかしてこの南児童館のぶろり一大作戦に関わっていられるのではないかと思うのですが、もし何か報告がありましたらお聞きしたいです。

○高橋委員 今年のですか。

○松嶋副会長 これは地域連携野菜収穫祭ぶろり一大作戦、1回、76名というふうに記載があるんですが、こちらのほうはそれではない。

○高橋委員 今年はやったやつですか。

○松嶋副会長 そうです。

○高橋委員 南児童館の目の前の畑をうちの会社が貸借で借りていまして、去年は全面ブロッコリーでやって、「ぶろりー」ってそこから来ているんですけど。ブロッコリーって携わる機会が少ないんですよ。苗を植えてから収穫までの間はほとんどなくて、何かそこがちょっともやもやとしたので、今年トマトとかナスとかそういう野菜を作って携わる機会を増やしてというのをやりました。児童館さん、あと地域の方の協力を得て、収穫したものでピザを作るみたいな形で、多くの方に来ていただいて開催をしたという流れです。

来年以降はちょっと考えて、貸借もいろいろある、返さないといけないという条件がついていて、いつまでできるか分からないんですけど、地域の方と子供とが一緒になってやればいいなと開催をした次第です。

○松嶋副会長 ありがとうございます。

○山岸会長 ありがとうございます。

ほか、何かございますでしょうか。

では引き続きよろしくお願ひいたします。

○事務局 10ページ、最後の青少年期向けの食育に関するミニパンフレット、実物はもう在庫がないんですけども。成人式のときに若い方向けに、朝御飯を食べようとかバランスよく食べましようとかというような簡単なプリントを成人式のほかの配付物と一緒に配付してもらいました。来年、今度の1月なんですけど、そこはもう前の在庫が全部なくなったことから、多摩府中保健所のほうで若い社会人に向けた動画を作ったんですけども、その動画のQRコードを載せているチラシを配付させていただこうと思っています。

このページは以上になります。

○山岸会長 ありがとうございます。

引き続き11ページもお願ひできますでしょうか。



○事務局 11ページになります。青年期から高齢期の食育推進、成人・高齢者の食育推進になります。1番の栄養個別相談につきましては、これは大人の分ということなんですけれども、前の会議のときに7ページにあった栄養個別相談も、そちらは子供向けなんですけれども、同じ日の時間枠に入っています。

2の栄養講習会につきましては、令和5年、ちょっと最初4回と書いてしまったんですけど、これは5回の間違いです。全部で6回あって、そのうちの1回がさっき話題になった親子の講習会で、こちらは大人向けなので5回という形になっています。参加者の人数は41人でした。内容としましては、4月には骨折を防ぐ食事という形で、去年4月はまだコロナが明けなかったので試食はなしで、デモンストレーション、見本をお見せするという形です。それから8月には、備蓄食品で作ったパッククッキング、それから10月には未就学児の保護者の方対象で、こちらは保育つきで行いました。11月には減塩というテーマで、薄味に慣れよう、2月には脂肪をためない食事ということで、食品の脂肪とかも気になる方も多いので、少し脂肪の摂取が少ない食事、献立の御案内みたいな形で講習会をやりまして、それで全部で41名ということになります。

4月に行った骨折を防ぐ食事という名前はついているんですけども、健康教室のほうで骨粗鬆症の予防のために、ある程度、年齢が若い方向けにそういう試食がありの講習会を行っているんですけども、一定年齢以上の方だとそこから漏れてしまうので、そういう方にも少し栄養のお話もということで講習会をやっております。あとは保育つきだったりとか、そのときによって対象が少しずつ変わっているような形になっています。

その次に3番目の健康づくりフォローアップ指導教室というのは、栄養の話もありますが、お医者さんの話、保健師さんの話、運動療法士の方が来て楽しく運動する、それから、歯科衛生士さん、歯のお手入れだったりとか生活習慣病との関係のお話だったりとか、そういうお話などもありまして、それが1日または2回シリーズの2日間になっています。一応ここに書いてあるのは、食育ということなので栄養のお話をを行った日だけになりますので、実際には、この倍まではいかないかもしれないけども、参加者としてはそのくらい的人数になります。

それから、この4番の特定保健指導というのは、健康課ではなくて保険年金課の事業です。特定健診のあと保健指導等を行っていて、こちらは委託事業で行っているそうです。

6番、成人学校「菜園教室」というのは公民館の事業になります。

次が、6024・8020運動の推進、こちらは歯科関係の事業になります。こちらは担当が健康課なんですけれども、昨年もそうだったんですけど、ちょっとうまく説明ができないので、すいません、服部委員、よかったら、今年度、これは令和5年なんですけれども1902人ということで、歯周病疾

患の早期発見に努め、生涯を通じ、自分の歯で過ごすことができるようにするため成人歯科健診を実施したということで報告をしているんですけども、何か付け加えることがありましたらよろしくお願ひします。

○服部委員 この70歳、75歳、80歳の方、いわゆる節目ですけれども、口腔機能評価、単にむし歯があるとか歯周病があるとかだけではなく、ちゃんとかめるのか、飲み込めるのか、その機能評価を行うという項目で、令和4年から、以前はなかったんですね。ですから、こういった新しい内容も加わって、それなりの数の方が受診されているということですね。

以上です。

○事務局 ありがとうございます。

それから、8番目は配食サービスで、こちらは自立生活支援課の障害者の方の配食サービス、それから介護福祉課のほうは高齢者の方の配食サービス。

その次が介護予防・フレイル予防普及啓発ということで、こちらも介護福祉課なんですけれども、小金井市のさくら体操管理会場とか書いてありますけど、小金井さくら体操というのがあって、市内のあちこちの集会場だったり、そういう場所で体操などを定期的に行っていて、そこに保健師さんが行って、栄養の話とか健康の話をしていたりしているそうです。それから介護予防教室も、お医者さんの話だったり栄養士も栄養の摂り方みたいな話をしてしています。それから、オンライン講座と書いてあるんですけど分からなかったので聞きましたら、こちらは委託会社のほうにお願いしていて、そこで、オンラインということで、栄養士の人の話を自分のおうちで聞くことができるようにしたということです。

それから9番目、ミニパンフレットによる情報発信ということで、普通ミニパンフレットというのは、A4の紙を半分に折ったものをミニパンフレットと健康課は言っていたんですけども、それではとても高齢者の方には見づらいということになりまして、A4で作成させていただきましたが、それを市内中に全部配るとかではなくて、例えば結構出前授業とか要請があるんですけどもそれだったり、それから個別の栄養相談だったりということで、そちらのほうで使わせていただいています。健康課の保健師や介護福祉課のアドバイスも受けて作成したんですが、必要なときに使えるものということで作成させていただきました。ちょっと部数があまりにも少ないので、皆さんに配付することはできないんですけども、一応こんな形でA4で4ページになって、白黒にしたらこんな絶対誰も見ないよと言われてまして、中がカラーで作って、こういうのは出前講座とかで使うようにしております。

以上が11ページの内容となります。

○山岸会長 ありがとうございます。

それでは今御報告がありました11ページのいろいろな推進について御意見等ございましたらよろし

くお願いいたします。

北脇委員、よろしくお願いいたします。

○北脇委員 すいません、先ほどから参加人数がとても気になっていて、さっきお話がありました41ページの3番、健康づくりフォローアップ指導教室、こちらは、実際は倍ぐらいの人数があるということでしたよね。それとも、倍ぐらいの人数があつてここにつながったのが、例えば糖尿予防だったら13人ということであつて、糖尿の予防教室に13名参加したということではないんですよ。

○事務局 一応、その栄養の日は13人だったということですね。ごめんなさい、ちょっと説明の仕方が悪かつたんですけど。

○北脇委員 そうですね、分かりました。でも、それはいいです。

同じようにほかのところ、下から2番目、介護予防・フレイル予防啓発とかいろいろと講座をさせているようなんですが。例えば介護のところだったら真ん中の介護予防講座、年3回、延べ41人、ということは1回当たり13人。1つ下に下がり、オンライン何とかと書いてあつて、年2回で延べ18人ということは1回9人参加となつて、それぞれの講座が何名の定員で何名参加したのか、その講座をやつたときの浸透力というか、どれだけ多くの人に聞いてもらえたかというのをやはり考えていったほうがいいのではないのかなと思つていて。例えば10人定員のところで10人、8人ならいいんですけど、これが30人定員のところで9人しか集まつてないということでしたら、やはり広報の仕方があまりよろしくない、もしくはチラシのデザインをもう一度考えるべきとか、そういったことをちょっと次の段階として検討されたほうがいいのではないのかなと思います。ただ、この資料からはそこまで読み取れないので、やはり定員何人に対して何人参加したという記載の仕方を次回からしていただきたいと、できればその形でお願いしたいと思つています。

あと広報の話なんですけど、もうやっているかもしれないんですけど、今、包括が市内4か所で分かれていて、全てLINEのほうで登録している方に、地域のお祭りとか関係ある予防講座とか、そういうのを全部お知らせして下さるそうなんです。この前もお祭りを包括4箇所で拡散していただいたということがあるんです。なので、こういった講座にもし人が集まらないようでしたら、やはり毎回包括のほうに拡散の御協力をお願いして、LINEで直接届けるなど、市報だけではなくてやはりほかの媒体というのも考えていただいて、やっていたらすみません、そういった形でもうちょっと参加人数に対して、参加人数が全ての評価ではないんですけど、分かるようにしていただきたいなというふうに思つました。

あともう1点、続けてよろしいですか。

もう1点は、8番の配食サービスのところです。こちらのほう、障害者の配食サービスが前年度と今年度かなり数が変わつているので、多くの方に情報が届いて必要とされている方が増えたのかなと思つ

んですが。これ、上がった理由というか、何かこの数字の変化みたいなものはあるんですかね。

○事務局 そこは、ちょっと資料がないです。

○北脇委員 はい、分かりました。

こういうサービスをしていて、そういう周知が届いて利用者が増えるのはとてもいいことだと思うので、ここはとてもうまくいっているんだなと思いつつ見えていました。

以上です。

○山岸会長 ありがとうございます。

○事務局 ちょっとLINEの件なんですけれども、一応うちと介護福祉課はお互いの事業を見に来たりとかそういうこともあって、そこで配布をさせていただいているのと、介護福祉課のほうから包括のLINEのことは聞いていて、じゃあ、今回集まってないようだったら出しましょうと言われて、そういう高齢者向けの講座に限ってなんですけれども、一応それは、すいません、やらせていただきました。

○北脇委員 よかったです。ありがとうございます。

○山岸会長 ありがとうございます。

○井上委員 ちょっと私、その介護サービスの講座に出席しているんですけど、1人の人に発言があると、やっぱりいろんな時間がかかるんですね。講師の先生がそれに対して答えたり、一緒に参加している人がこうしたほうがいいんじゃないのという意見もあつたりして。やっぱり15人か20人ぐらいがちょうどいいかなという感じでした。

○山岸会長 ありがとうございます。

横山委員。

○横山委員 横山です。私は今の井上委員の回答で大丈夫です。何人ぐらいが高齢者は効果的なのかなと思って。

私もこの下から2番目のところの「さくら体操管理会場参加者に対し」というのが、年1回なのに151人だったので、1回でこんなに集まる場所でお話して、それが効果的なのかどうかというのが知りたかったというか。

○井上委員 さくら体操はもういろんなところでやっているんですよ。

○横山委員 ああ、そうなんですか。

○井上委員 私はシルバーの人間なんですけど、シルバー人材センターでもやっていますし、市役所でもやっていますし、包括センターなどでもやっていますから、一概にこれで人数が……。

○横山委員 1回というのは、一つの会場に150人じゃなくて……。

○井上委員 これがどういう形で1回で人数を取ったのか分からないんですけど。

○事務局 私も見学に行ったことがあるんですけども私の見に行った会場は20人ぐらい。その体操が3部構成に分かれていて、ちょっと間でやっぱり休憩とかも必要なので、少し体を休めるときにそのお話をされていました。

○横山委員 ありがとうございます。

さっき北脇委員からお話を聞いて、そうだなと思って、何かこの食の事業だけで一つやるとなったら人数を集めるのは難しくても、こういうさくら体操とセットにしたりとか、どこかでやっているところで5分間の栄養ワンポイント何とかみたいなものがあれば、健康教育みたいなものが広がるのかなと思いました。

○山岸会長 なかなか課をまたいで事業をするって難しいのは分かるんですけども、でも、ここでやって、ここでやってという小さな花火ばかりじゃなくて、何かせっかくこうやって食育推進会議として全部報告いただいているのですから、ちょっとこうほかの課と連携できれば、もしかすると効果が上がるのではないかと。一つ一つはすごくいいことだと思いました。

少ないから駄目じゃないと思うんです。個別のほうがすごく効果が上がることって教育とか指導にはあることなので、この人数だったら効果的だろうという対象人数をまず決めておいて、こうだったという結果として人数を上げていただくので、私たちはそれでいいと思うんです。別に100人だからよくて10人だから駄目とかというんじゃないで、その効果的であったというのが何か分かるような、あと広報の仕方も、せっかくコロナが落ち着いて大分戻ってきているので、何か来年もっと活発化できる一つの手だてとして、ちょっとタイアップとか組み合わせるようなものもあればいいなということで、すいません、ちょっと私のほうから意見させていただきました。

委員の方、ほかに意見、何かございますでしょうか、よろしいでしょうか。

すみません、私のほうでたくさんお話をしてしまいました。

そうしましたら最後、12ページのほうをよろしくお願いいたします。

○事務局 一番最後のページです。12ページになります。

食育推進会議ですけれども、皆様の御協力もありまして、令和5年は予定回数を行うことができました。食育の条例で年4回以上となっております、一応6回行うことができました。コロナの間は回数を全部するということがなかなか難しいこともあったんですけども、今後も会議を開催していきたいと考えております。

食育コーディネーターの設置なんですけれども、こちらのほうの活動状況——ごめんなさい、令和3年度と書いてありますが令和5年度の間違いですね、令和5年度事業実績のところです。

それから、食育推進検討委員会というのは、この委員会とはまた別に、市の食育事業を行っている関

係課による検討委員会という会があるんですけども、こちらは皆さんの推進計画の調査の結果、会議録などを御覧いただいて、そこに対してその課の意見をいただくような形にしておりますが、そんなに意見はなかったです。

最後、大学等との連携ということで、若年層に対する対策とあるんですけども、こちらにつきましては、先ほどの青少年のところでもありましたが、多摩府中保健所のほうで青少年というか二十歳前後の方向けのビデオを作りましたので、そちらのほうを行っていきたいと考えております。

以上になります。

○山岸会長 ありがとうございます。

以上、12ページにわたる報告、ありがとうございました。

全体を通しまして、あと、もし御自分が関わっている事業などありましたら、また補足等ありましたら御意見いただければと思いますし、まだ発言のない方で何か今回の報告につきまして御意見等ありましたらお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

よろしく申し上げます。

○太田委員 太田です。

先ほど来、人数の話が出ていますが、確かに少人数のほうが効果が上がる場合と、多人数を集めることが目的の内容の場合とがあると思うんですが。例えば、11ページの41番、特定健康診査の特定保健指導のことなどは、完全に数値的なものが出て数値目標を立てやすい内容だと思うんですね。対象者が何人いて——41番というか上から4つ目です。

○山岸会長 特定保健指導のほうでよろしいでしょうか。

○太田委員 はい。

○山岸会長 11ページの4番ですね。

○太田委員 例えばここは、動機付け支援の対象者524人で支援を受けた人が90人。積極的支援のほうで194人、受けた人が23人という、この辺をどこまでもっていくということにして、そのためにどういう施策を打つかというセットになっているべきで、ほかのところも人数が多い少ないという話はもちろんあるんですけど、どのくらいの人に受けてもらってどういう効果を狙うのかというのがちょっと見えてこないところが、議論が空転する原因になるんじゃないかなという気がしました。

感想です。以上です。

○山岸会長 ありがとうございます。

ほかの委員の方、ございますか。

実は私も、この4番目の特定保健指導はちょっと気になっていまして、多分この特定保健指導の制度



ができて10年は経過しているかと、メタボ健診とって急に健康診断で腹囲を計測するようになったあれなんです。対象になっていてもどれだけの人がこの指導を受けているのかなど。多分、企業さん同士で何か数値を決めていると思うんです。やっぱり優良企業としては、今、健康な社員をしっかりと担保することが優良企業の指標の一つになっていると思うんですけど。実際、この人数がその対象になっている人の8割以上を受けているのか、それとも、いや、もう動機付けなんていいですって、まだまだ自分は健康ですとって受けていないのかとか、ちょっとこの辺りは私も少し気になりました。

すいません、保険年金課さんになるので、なかなか今、即答できないとは思いますが。

○大澤委員 すいません、福祉保健部長です。

市の場合、こちらは食育に関する計画なんですけども、市には様々な計画があります。さっき言った特定健診に関していくと、健康増進計画というのを健康課がつくっており、そこに数値目標というのが具体的に書いてあって、別の審議会でも議論しているというところです。いろんな計画のところから新しい計画ができるとそこから抽出してくるんですね。ここでも議論する場もあったり、もともとその本体の計画の場があたりとか、そういうところがちょっとあたりとかするので。

もともと計画ができたときにその辺もまたお知らせをしながら、評価の方法というのはまた今後考えていかなければいけないかなと思っていますけれども。一応、今、太田委員がおっしゃっているような目標というものはもう既に別のところの中で定まっているんですけども、この食育推進計画の事業名だけがあって、それに対して事業項目があって、それを踏まえて担当課としては評価をしているというふうなところで、今日の時点では御理解をしてください。ただ、今後のここでの議論を妨げるものでもないですし、そういうものが分かるような感じの状況の報告書の作りというところは課題かなというふうに受け止めさせていただきたいと存じます。

以上です。

○山岸会長 ありがとうございます。

○事務局 すいません、いいですか。

○山岸会長 はい。

○事務局 ちなみに言うと、これは保険年金課の事業なんですけど、国の目標としては受診率が60%。ただ、近年の小金井市の保健指導の実施率というのが15から20ぐらいだったと思うんです。恐らくこの動機付けとかも計算すると、多分そのぐらいの実施率になってくると思うんですね、90割る524、17%。目標値からは大きく乖離していて、その受診率向上が課題だというのは保険年金課も認識していて、様々な委託業者をお願いしてやっている部分ではあるんですけど、ちょっとなかなか向上には至っていないというような状況です。



以上です。

○山岸会長 ありがとうございます。

多分食育って、病気にならないための健康な食習慣づくりというので、やっぱりそれが大本だと思うので。病気になってから気づくのではなくて、本当はこういった支援、指導をまだ軽症のうちに受けていただければもっと健康寿命も延びるんじゃないかなと思うんですけど。すいません、一管理栄養士としてちょっと気になる発言をしてしまいました。申し訳ございません。失礼いたしました。

すいません、あと、ほかに御意見等ございましたらお願いしたいと思いますのですが、よろしいですか。

あとは次の議題の食育ホームページ委員会からの報告ということで、雀部委員、よろしく願いいたします。

○雀部委員 前回からの続きになりますけれども、食育ホームページ委員会を毎月開催しております。今月は健康課のほうで工事等が入るので場所が使えないということで、特に大きな議題もなかったののでやっておりませんが、基本的には毎月1回オンラインと実際に会うのと併用して編集会議を行っています。

食育ホームページについては、この食育推進会議の中にそもそも4名編集委員がおりまして、松嶋委員と太田委員と三毛委員と私、4名、かなり深く入り込んで参加しているので、担当のところはちょっとお話もしていただいて、詳しく補足説明していただいたほうがいいかなと思います。

私のほうからは、ホームページのまずレシピについては、前回の続きなんですけれども、9月はピーマンと切り干し大根のナポリタン風ということで、切り干し大根のちょっと目先が変わった珍しい食べ方を紹介しています。ケチャップの味つけで食べるということはなかなかないと思うんですけど、とてもおいしいので、ぜひお試しくださいかなと思います。それから10月は白ナスととろとろ肉みそチーズ焼きということで、輪切りにした白ナスに肉みそを乗せてチーズを焼いて、これもお子さんなどにもすごく好評かなと思います。11月は、昨日私のほうでアップしたんですけど、手前みそになりますが、大根餅ということで、飲茶などでよく召し上げられている方がいると思うんですけど、大根餅を手軽に家で、自分がレシピの担当だから言えるんですけど、大根餅って蒸してから両面を焼くという作業が入るんですけど、蒸す部分をレンジでチンでできるような形で、手軽に作っていただければいいということで大根餅を上げました。それぞれ時季の旬の食材、地元の食材を使ってというような作りになっているので、ぜひホームページを御覧いただいております。

それから、農業カレンダーのほうに食育ホームページのレシピが毎月、1年分載っています。補足説明を松嶋委員からお願いします。

○松嶋副会長 食育カレンダーに関しましては、前回の農業祭で行われた子供の農業に関する絵で毎年

作っているんですが、その横のページに、私たちが1年間担当して作ったレシピを載せていただくということで、先月の分までを農業委員会の事務局のほうに送信していて、カレンダーに仕立てていただくということになっております。

○雀部委員 パソコンとかスマホとかの操作が苦手な方にも、カレンダーだと紙なので実際見ていただけると思うので、そちらのほうを参考にいただければいいかなと思います。

あと栄養成分表示活用クイズについては、今回は太田委員がいなかったので私のほうからお話ししましたけれども、今回はいらっしゃるので10月と11月の加工肉と冷凍食品について補足説明をお願いします。

○太田委員 加工肉、ハムとかベーコンとかですけれども、たんぱくを摂りましょうということで意外と推奨されることが多いかもしれないですけど、非常に塩分が多い代表的な食品群であるということを認識してもらうということ。生ハムに至っては塩漬けということが分かるようなクイズ型式にしてあります。

それから、今月出したのは冷凍食品で、冷凍食品自体がどうのこうのというわけではなくて、1食分がパックになってしまって、それを丸ごと温めるしかないというのが結構あって、そうすると、もう塩を減らすとか減らさないというのは論外、手段がないような食品で、1日の目標量を6グラムに設定しますけれども、それを超えてしまうようなものもあるんだということを紹介しています。

一応、エネルギーの比較、カロリーの比較のものを10本やったので、減塩を10本までやっていきたいなと思って、日々、スーパーをうろついているところであります。

以上です。

○山岸会長 ありがとうございます。

○雀部委員 私は実際、太田委員のつくったクイズに答えて解説を読んだ感想としては、冷凍食品で1食食べると、例えばこのぐらい塩、塩分が入っているんだというのを頭の中で踏まえた上で、じゃあ自分で手作りするときどこを減らせるかなということで、その解説の中にアドバイスも書いてあるので。例えば、冷凍食品のときの塩分を思い出して、焼きそばなどは入れる粉状のソースをちょっと減らしてみるとか、そういう提案も書いてあったのですごく参考になるので、ぜひ皆さん、御覧ください。

○太田委員 提案はしたものの実践はしておりません。(笑)

○雀部委員 薄い味に食べ慣れると案外いけるということだったりとか、ほかの味がよく分かるというメリットがきっとあると思うんです。塩分でちょっとごまかす——ごまかされているというとあれなんですけれども、いろんな味を感じにくくなっている部分もあると思うので、とても参考になります。

では続きを。課題の部分についてなんですけれども、皆さん、毎回聞かされてちょっとうんざりして

いるかもしれないんですけど、相変わらずちょっとトラブルが多少あるかなということで。記事は順調に上がってはいるんですけども、それを上げることについてもちょっと今トラブルが出始めてきています。一つは表示の問題で、前回も言いましたけれども、今すぐ講読してメールアドレスを入れましょうというような表示が出るということについて相変わらず困っている段階と、もう一つは、そこは無視して続きを読むというところを選んでくださればいいんですけども、分からない方にとってはちょっと怪しいサイトではないかと思われてしまうのではないかと委員は心配しています。

それと、やっぱりデータがたくさん入っていることもあり、とても重いのでなかなかページが開かないということで、ページが開かないうちに怪しいのではと思われているのではないかというふうについてちょっと感じています。

先月、今月ぐらいから出始めている問題としては、編集作業をしているときにもちょっと支障が出始めていて、打ち込んだデータが消えてしまうのですとか、あと、何回もバックするような作業を繰り返さないときれいに全部出てこないとかいう、ちょっと編集作業にも支障を来していて、私たちは原因が何か知りたいんですけども、システムの会社とは直接やり取りができない立場になるんですね。なので、ひたすらそのシステムの会社からの返答を待つという形になっているので、なるべく快適にストレスなく編集作業ができれば、長く続いていくので、それをお願いしているというところです。

以上です。

○太田委員 安全ではない。

○雀部委員 安全ではないというのが出てしまうのは、ちょっとなという。

○太田委員 市としてはまずいんじゃないか。

○雀部委員 というふうに思っているんですが、分かっている人はそれで無視して開けるんですけど、慣れていない人だとちょっと、何だこりゃというふうになると思うので。それはなるべく早くどうにかしてもらいたいなと思っています。

○山岸会長 ありがとうございます。対策は……。

○事務局 一応、業者さんのほうから要するに今、httpというアドレスなんですけど、安全だということでhttpsというほうのアドレスがあるのでそれを教えてくれたんですけども、私のほうで何回かそれをやっているんですけども、もちろんそれで開けるんです。開けるんだけれども、あの食育ホームページ自体がまず表紙のところがあって、その先が結構深くあるんですけども、行くと、また、どこかでそれが消えちゃうんですね。私も、1回、2回じゃ分からないから何回かやっているんですけど、それで購読するしないというのも出るときと出ないときとあるような形なので、ちょっとそこがよく分からないので、また待っている次第ですけども。

○山岸会長 小金井市全体のホームページとして、ちょっとそこを対応していただけるとね。

○雀部委員 一応市から委嘱されているので、やっぱり信用されて見ているという緊張感を持って編集作業もしているの。できればなるべく早くそれが解消されればなというふうに思っています。

○事務局 健康課のほうでその委託会社のほうには確認は引き続きしていきますので、すいません、よろしくをお願いします。

○山岸会長 よろしくお願いいたします。

ありがとうございました。

それでは次に、その他ということでもよろしくお願いいたします。

○事務局 前回の会議から昨日ぐらいまでに食育のイベントに関わられた、御参加された方がいらっしゃいましたらお願いしたいんですけども、ちょうど間にあったのが、農業祭と歯と口の健康だったんですけど、まず、もし農業祭に関わられた方がいらっしゃいましたらお願いいたします。また、会場に行ってこうだったよというお話でも結構です。

○山岸会長 よろしくをお願いします。

○服部委員 毎年、歯と口の健康というのは、むし歯予防デーに関連して6月に行われていたんですけど、今年からちょっと諸般の理由があって10月20日、場所は同じ駅前の宮地楽器ホールですけども。来場者数全体としては375名ということで特に大きな変化はなかったと思うんですが、口腔がん検診というのが、去年の6月に比べて何倍という単位で増えまして、今年は91名だったんです。さっきちょっと近藤さんに伺ったらば、予約の電話を受け付けるのでパニック状態になったという、そういう状態だったみたいです。これは何が原因なのかと言われてもちょっと推測できない。推測できないことに対して、先ほど来、お話が出ていますけれども、じゃあこれ、もしマンパワーなり何なり来年はちょっと大きくする、そうしたらまた例年並みに戻っちゃったという、何やっているんだってお叱りを頂戴するかもしれないので。なかなか対応の仕方は、担当の理事やらとも、直接会って話はしていませんけれども、難しい面もあるかなと思います。いずれにしても、そういう特徴が今回はございました。

以上です。

○山岸会長 ありがとうございます。

ほか、ございますでしょうか。

よろしくをお願いします。

○三毛委員 私もこの推進会議の委員にさせていただいて、小金井市のいろんなイベント、こうのがあったのだと初めて知って、今、服部さんが言われた歯と口の健康展に初めて参加させていただきました。

実際に健診というところまではやらなかったのですけれども、一通り展示物とかを見させていただいて、やはりこれから、特に高齢者、私も含めて歯の健康というのはすごく大事で、内科の先生から歯はちゃんと診てもらっていますかって言われることも結構あるので。そういった意味では歯の健康に気をつけられている方が増えてきているんだなど。食育のチラシも、イベントのお土産の中にちゃんと入っていました。それを確認する意味でも私は参加したのです。そしてちゃんとチラシが入って入って食育ホームページの紹介などもされていました。

先ほどのホームページの話と関係しますが、やはりそういうところで配られたものというのは、関心を持って行っている人だからこそ多分家に帰ってから御覧になると思うんですよね。そこでホームページにアクセスして残念な結果になってしまうというのは非常に寂しいので、ぜひとも先ほど雀部委員が話された部分も市のほうでは御検討いただきたいです。やっぱりこういったイベントに参加してみるといいなと思うものがあるので、私も自分のネットワークでそういうのは広めていきたいなと思いますし、今後も続けてやっていただけたらいいなと思いました。感想です。

○山岸会長 ありがとうございます。

口腔ケアはすごく今関心が高いんじゃないかなと思います。オーラルフレイルという言葉もあるみたいで、やっぱり口が弱っていくと体が弱るといので。ありがとうございました。

ほか、逆にこれからイベントを開催されるとか何か。

○松嶋副会長 農業祭の話がまだだと。

○山岸会長 申し訳ございません。よろしく願いいたします。

○藤澤委員 いいえ、今日は何もないです。

○高橋委員 産業祭の中の1つで農業祭を開催させていただいて、先ほども食育カレンダーの件で、小学生対象で224点、市内の小学生に出していただきました。去年より今年のほうがいいというのは、去年初めて産業祭という形でやって、それはよくなるかといけないことだと思うので、今年も反省も含め、来年もっといい産業祭にできれば、もっともっと魅力を発信できるかなと思っております。

そんなところですね、農業祭は。

○山岸会長 ありがとうございます。

○松嶋副会長 すみません。

○山岸会長 よろしく願いいたします。

○松嶋副会長 まず今の産業祭の中の農業祭は、農業委員としても見にいかせていただいて、今年もすごくきれいな野菜がたくさんありましたが、やっぱりちょっと高温で、農家さんのほうから収穫が大変でなかなか野菜をそろえて出すのは大変だったというお話も伺っております。

それから、農業祭を離れて食育イベントなのですが、こちらの食育コーディネーターのほうから最初御紹介いただきまして、公民館のほうで市民講座の講師を計3回、担当させていただきました。そのうち2回は高齢者向けの食育講座で、小金井野菜を手軽においしく食べる方法、独り暮らしだったりして簡単に小分けして食べる方法だとか、あとはたくさん買ってしまったときの保存方法みたいな話を2回させていただきました。1回、Wi-Fiが繋がるといことで食育ホームページを实际あけて紹介しようと思ったんですけど、先ほどのお話にちょっと戻るんですがなかなかローディングが、ずうっとローディングになっていて、その間、話をつないで、あ、つながりましたね、みたいな感じになってしまったんですが。实际見ていただいて、こんなページですって紹介したところ、うちに帰って見ますという方がかなりいらっしゃったので、实际そういうふうに見ていただくのは大事だなと思った次第です。

あともう1回は、大堀さんで江戸東京野菜の親子収穫体験を、本当にこの間の日曜日にしました。季節にしてはすごく暑くて、私も汗だくで、皆さんが日焼けするぐらい暑かった日曜日でした。そもそも、もともと大堀さんのほうで、畝でシントリ菜と伝統コマツナと金町コカブの3つをまいていただいて、それをもうここからこの区画は全部収穫して帰るといことで、もし採って帰らなければ、捨てちゃうまでは言わないんだけども無駄になっちゃうからみんな持って帰ってねというふうにしたら、親子10組のところ50組の応募があったんですけど、抽せんで10組25名ぐらいの親子さんが来たんですけど、お母さんが、もうやめて、もう採らないでというぐらい子供が採ってしまって、こんな大きな袋とかエコバッグにしょって帰るぐらいで、何組かの方は、一度家に帰ってバッグ取ってきていいですかみたいな方もいらしたぐらいで。

天気のいい中でお子さんがすごく喜んで収穫して、その場で私も江戸東京野菜のお話と食べ方、こんなにたくさん持って帰って大丈夫？ という話で、無駄にならないように葉っぱも全部、大堀さんが今日のために育ててくださったので、なるべく無駄なく捨てないでカブの葉っぱも全部食べてねといことで持って帰っていただいた。その後、ちょっと採り残しがあったのも公民館の方と私とで全部きれいにして、畑もきれいにして帰ったところで、大堀さんのほうも、こういうふうにしてくれると助かるよといことだったんですね。なので、そういうふうな形で収穫体験といのをさせていただくと、農家さんの負担も少ないのかな、まいてもらった分を全部消費して帰るといのはいいことだなといふうに感じました。

でも課題としては、この日のためにまいていただいたんですけど、すごくやっぱり大きくなってしまって、伝統コマツナは大きくなってても柔らかいんですけど、コマツナじゃなくてオオマツナだよみたいな話とか、シントリ菜といのもの、このぐらいのものがこんなに大きくなって、子供が抱えるぐらい、抜きにくいよみたいな話になったりして。でも、大きくても食べられるので無駄なく食べてねといこ



との講座でしたので、大変いい講座だったなと思って。公民館のほうも、10組で絞ったけれども来年はもう少し増やしてもいいのかもしれないねということで、また開催できるかと思います。そのようなことが最近ありました。

それともう1点なんですが、私のほうが深く関わっているわけではないんですが、南小学校のほうでエディブル・スクールヤードという取組が始まっておりまして、そちらのオープニングの説明で、そちらのほうでも江戸東京野菜などをまいてもらって、近隣の畑を萩原さんという農家の方が借りて、そちらのほうで収穫体験などして給食に取り入れて、学んで食べてというようなことをされていて、今後それがほかの小学校にも広がったらいいなというふうに思った次第です。

以上です。

○山岸会長 ありがとうございます。

ほか、よろしいでしょうか。お願いします。

○高橋委員 今の南小の萩原さんの話があったじゃないですか。うちも昨日、おとといか、東小の生徒が150名来て、カブの種まきから全部やってもらっていて、今回、今日の給食でカブと何かと何かが交ざって出てくるという、そういうのをやっています。カブと同時に大根もまいているので、来週は大根の収穫、やっぱり2年生なので種まきは、種が本当に小さいのでこぼしちゃったとか、発芽しなくて後でまき直すとか、そういう手間はあったんですけど、そういう取組が広がれば、やっぱり自分たちが収穫したというか、作った野菜というストーリーをつくることで、残したりとかそういうことがなくなっていけばいいのかなみたいな、そういう取組をしています。

○山岸会長 ありがとうございます。

○松嶋副会長 非常に子供たちが、そのときも収穫したものをちょっと園庭で料理したら奪い合うようにしてピーマンを食べていて、家でそんなに食べないだろうと思うぐらい、食べる、食べるって言ってみんなで並んで、この塩をつけたのがうまいとか、よく分からないんですけど、焼いたピーマンを食べていて。やっぱり自分で育てて収穫してその場で食べるというのは気持ち的にも、それがやっぱり給食の残渣を減らすことにもつながっていて興味と、そしてまた近隣の農地を有効利用するという教育にもつながっていけばいいのかなと思っていて、小金井市でもこういう取組がほかの学校にも広がればいいなと思っております。

○山岸会長 ありがとうございます。貴重な御報告をありがとうございました。

ほかはよろしいでしょうか。横山委員。

○横山委員 さっきの高橋委員のお話を聞いて、実は私の勤務先も萩原さんが近所に農地を貸借してくださって大根を植えてくださった。4年生の子供たちと一緒に大根の種まきをして、先月、間引きをし



て、それなんかも給食でいただいて、来月4日に本当の大根抜いて、それをまた子供たちが大根を洗うことをして、その冷たい水で洗う大変さを実感した後、給食で5日にいただくという話になっているんですけど。

私は、農家の方のこの御協力に本当に感謝をしていて、授業を見にきてくださったりとか、農地を貸してくださったりとか、子供たちがせっかく耕した、きれいにしてある畑を踏み荒らしてしまったりとか。私も間引きをするときに一緒に行ったんですけど、私は間引きをするというのは、テレビとかの何となくイメージでしか知らなくて。間引きて、土があったら込んでから抜いて大きくするという、本当にそれだけのイメージだったのが、何かこう機械で種を植えていくときに、同じ機械の穴から2個とか3個出ちゃうから、萩原さんが、そうなっているから1個で生えていると思っても、よく根本を見たら2個とか3個に株がなっているから、一番大きいのだけ残して、それを押さえながらあとのものを優しく抜くんだよという話を聞いて、子供と一緒に、えー、こんなふうになって、間引きてこういう意味だったんだというのを実際に目で見て体験して知って、本当に体験するって大事だなというふうにひしひしと感じました。

本当に農家の方あってこそできることだなと思って感謝しております。子供たちも給食の時間、その学年だけじゃなくてほかの学年の子たちも残さず、何年生がやったんだって言って喜んで食べていました。本当にありがとうございました。

○山岸会長 ありがとうございます。

○松嶋副会長 楽しくなっちゃって余計なものも抜いちゃって、萩原さんが、その学校ではなくて別の学校なんですけど、何キロぐらい持って帰ってもらおうと思ったら、3倍ぐらい抜かれちゃって、でも、みんな残さず食べてくれたのでいいんだけどと言って笑っていらっしやいましたけど。本当に農家さんと学校の連携が今後も進んでいくとうれしいです。

○山岸会長 ありがとうございます。

何か本当に、この今回の報告を聞いても、コロナでできなかったことがやっとできるようになって、子供たちの1年間って多分成人した大人の1年間以上に貴重な365日だったと思うんです。それがなかなかできなくて、こうやって今のお話を聞くと、平常というか元に戻るってなんて幸せだろうってつくづく思いました。本当にいろんな方々の御協力のもと食育が推進されることを願ってやみません。

すいません、ちょっと私の司会進行の不手際で時間がオーバーしてしまいました。

事務局のほうから次回についてよろしくお願いたします。

○事務局 次回につきましては、1月下旬から2月下旬の水曜日の午後2時開始を予定しております。また、今回の会議録案ができましたら、前回同様メールでお送りいたしますので、御確認・訂正等、お

忙しいと思われませんが、どうぞよろしく願いいたします。

○山岸会長 ありがとうございます。

それでは、以上をもちまして令和6年度第3回小金井市食育推進会議を終了したいと思います。

皆様、本日はお疲れさまでございました。

— 了 —